

事業所自己評価・ミーティング様式

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

実施日 平成 29 年 2 月 17 日 (18:00 ~ 20:00)

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	10人	3人	人	15人

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

前回の改善計画

利用者・家族に対する丁寧な対応、また想いに沿ったケアをする。  
利用開始時には、本人への声掛けを工夫し不安を取るような配慮をする。

前回の改善計画に対する取り組み結果

利用者様・家族様に対する声掛けや不安を取るためのコミュニケーションは、しっかりと意識し情報収集や職員との共有はできた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	8	6		15
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	7	7		15
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	2	9	4		15
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	10	2		15

できている点

200 字程度で、できていること、その理由を記入すること

利用者様の情報を把握・共有、それらを活かした取り組みが出来ている。  
声掛けを工夫し、不安を取るような配慮が出来ている。

できていない点

200 字以内で、できていないこと、その理由を記入すること

会議やミーティング等で発信しているものの、共有がなされていない。  
必要としていることを把握できていない。  
利用者家族へ、積極的な声掛けが出来ていない。コミュニケーション不足。  
ケアプランの確認を怠っている。入ってくる利用者の情報が共有されていない。  
本人や家族が必要としている支援が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

利用者様の事前情報を共有し、利用開始時には情報を活かしたコミュニケーションから声掛けを実施し、本人や家族が必要としている支援をする。

事業所自己評価・ミーティング様式

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）

実施日 平成29年2月17日 (18:00～20:00)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？	1人	7人	7人	1人	15人

前回の改善計画

訴えの少ない利用者に対し、しっかりと寄り添い希望を聞き出す。聞きえた情報を、従業員間でしっかりと共有する。利用者個人の目標をしっかりと把握する。

前回の改善計画に対する取組み結果

利用者様の「～したい」と思う事に対し、行事やレクで取り入れ意欲を引き出す事が概ね出来ていると感じる。徐々にはあるが、ケアプランのチェック等、職員の意識も変わってきている事が実感できる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか？	1	5	8	1	15
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1	11	1	2	15
③ 本人の当面の目標「～したい」を目標とした日々のかわりかできていますか？		8	6	1	15
④ 実践した(かかった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？		3	10	2	15

できている点

200字程度で、できていること、その理由を記入すること

利用者様がやりたいと思う事などをレクに取り入れたり、行事に取り入れられている。利用者の短期目標を考えた日々の関わりを行っている。聞きえた情報を職員間でしっかりと共有できている。ケアプランのチェックや、話を聞く体制を作っている。

できていない点

200字以内で、できていないこと、その理由を記入すること

職員によりムラがあり発言が少ない。個々の目標を把握していない。長期目標を理解していない。ゴールを明確に理解できていない。聞いた内容を申し送り等で発信出来ない。対応策を考えられない。振り返りが出来ていない。利用者の訴えを聞くことは出来るが、次にどうしたらよいかわからず中途半端になる。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

各利用者のケアプランを細部まで確認し、利用者本人の「～したい」を実現するべく、職員全員が対応できるようにする。その中で、知りえた情報は職員間でしっかりと共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 平成 29 年 2 月 17 日 (18:00 ~ 20:00)
3. 日常生活の支援	ｽｷﾝ-

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	8人	1人	15人

前回の改善計画	情報収集から共有をしっかりと行う。 医療面についての勉強会を実施し、様々な状況に対応できるようにする。
前回の改善計画に対する取り組み結果	全体会議の中で、利用者様の今までの生活状況・環境を発表し共有することができている。 技術的な部分に対しての勉強会や研修会も実施できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 「以前の暮らし」が10個以上把握できていますか?	1	1	6	7	15
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	10	1	1	15
③ ミーティングにおいて、本人の声にならぬい声をチームで言語化できていますか?		1	12	2	15
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	11	1		15
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		10	5		15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>体調の変化に合わせたケアに関しては出来ている。 本人の状況を見て苦痛を感じる事のないように考えた身体的介護が出来ている。 体調の変化や気持ちの変化等は職員間で「報・連・相」を心掛けている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>本人の自宅での生活を把握できていない。勉強会を実施しても活かしきれいでない。 報告をすくみせずミーティング等で代弁出来ない。情報の確認不足、伝達不足が一向に減らない。 ミーティング等で発言できていない。情報があるにも関わらず理解していない。 周りの職員の見解に影響を受けやすく自分の意見が言えない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>次本人の生活状況をしっかりと把握し情報を共有する。声にならない声を言語化し、本人の気持ちに沿った支援を実施する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 平成 29 年 2 月 17 日 (18:00 ~ 20:00)
4. 地域での暮らしの支援	×/N-

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	1人	4人	9人	1人	15人

前回の改善計画  
各担当者が先頭に立ち、責任を持って情報収集しケアカンファレンス等で発信する。家族や利用者本人に対し、積極的に関わるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果  
各担当者が先頭に立ち、様々な情報収集を実施しカンファレンス等で発信することが出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	3	7	2	15
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2		8	5	15
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		3	6	6	15
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域資源等を把握していますか?		1	6	8	15

できている点  
200 字程度で、できていること、その理由を記入すること  
基本情報等で以前の生活スタイルを把握しようとしている。職員間での情報を共有するよう心掛けている。利用者・家族に対しての関わりは、しっかりできている。

できていない点  
200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
何を話していいかわからない。利用者についての情報はあるが詳細は聞かずそのまましている。情報の確認不足。地域資源の把握をしていない。自ら情報を発信していない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
地域資源を活用しながら、これまでの生活スタイルを維持し、家族や地域との関係が切れる事が無いような支援をしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 平成 29 年 2 月 17 日 (18:00 ~ 20:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	X/A/-

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	7人	1人	15人

前回の改善計画

細かなニーズに答える為の情報収集を徹底し共有できるようにする。  
出来る限り、利用者の希望に沿える支援ができるよう柔軟に対応する。

前回の改善計画に対する取組み結果

利用者様本人やご家族様からの希望をくみ取り、様々なサービス提供を柔軟に提供している。  
それにより希望に沿った支援を提供する事ができていると考える。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	1	6	8	15
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が要 当適切に提供されていますか?	1	10	3	1	15
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に 気づき、ミーティング等で共有することが できていますか?	1	6	7	1	15
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わ せて柔軟な支援ができていますか?	1	8	6	1	15

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
利用者本人の体調に合わせて介助を行っている。  
日々の関わりや会話で変化に気付こうと努力している。  
上司と相談しながら柔軟な対応をしている。

できていない点

200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
地域の資源を使えていない。地域資源とは何かわからない。  
変化等を伝えても、その後の情報・記録がない。気付きが少なく、視野が狭い。知識不足。  
報連相が足りていない。決まりきった対応が多く職員間の情報共有が少なく、職員の都合で動いてしまう。  
変化に気付けても、どのように伝えたらよいかわからず相談出来ない。報連相が上手くできていない。  
記録など抜けているところが多々あり情報収集出来ない。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)  
利用者日々の様子をしっかりと把握するとともに、情報共有・記録管理・報連相を徹底する。  
利用者の希望に沿った柔軟な対応を心掛ける。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 平成 29 年 2 月 17 日 (18:00 ~ 20:00)
6. 連携・協働	X/M-

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	2人	12人	15人

前回の改善計画	地域に対しての認知度を拡大させていく。 町内会のイベントには引き続き積極的に参加していく。 地域の医療機関との連携を密にし、利用者の急変時には相談出来るような信頼関係を構築する。
前回の改善計画に対する取り組み結果	地域の医療機関とは連絡体制やバックアップ体制をしっかりと立てる信頼関係が築けた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行いましたか?	1			14	15
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		1		14	15
③ 地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?			1	14	15
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?				15	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
提携先医療機関との連携はある程度できている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
自分達から進んで関わろうとしていない。機会が無い。地域との連携には全く関わっていない。協議する場を設けていなく立案もしていない。仕組みを理解していない。関係ないと思っていた。会議等実施しているか知らずとしていなかった。関わり方がわからない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
地域との連携を強化し、町内会の活動には積極的に参加する。 また、事業所のイベント等にも参加していただければ、地域密着型としての関係性を強化する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

7. 運営

実施日

2023年2月17日

平成 29年 2月 17日 (18:00 ~ 20:00)

2023

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	2人	7人	6人	15人

前回の改善計画

運営側と職員側の壁を取り払い、積極的に意見交換する環境を整備する。

前回の改善計画に対する取組み結果

職員側からの意見・要望には柔軟に対応できている。利用者様や家族様等からのクレームに対しても、真摯に受け止め、職員会議等で意識の統一をし再発防止に努める事が出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 事業所の方について、職員として意見を言うことができますか?	3	3	9	15	
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	10	2	3	15	
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	2	10	15	
④ 地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	2	11	15	

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 クレームには意識して気を付けるようにはしている。チームの再発防止に努めている。地域との関わり方がわからない。役員や上司との意見交換を積極的に行っている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 意見を積極的に運営側に発信出来ない。積極性不足。運営のあり方がわかっていない。職員としての意見を言えていない。意見を出すほど自分が成長していない。職員の姿勢を改善していく方法が定まっていない。個人の知識不足。仕組みが理解できない。運営側と話そうとしない。どうせ聞いてくれないと思ってしまう。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

全ての職員が積極的に意見を発信できていない事もあるため、今後は積極性を高め意識を統一させ運営に活かししていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

8. 質を向上するための取組み

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
⑩ 前回の課題について取り組みましたか?	人	7人	7人	1人	15人

前回の改善計画

引き続き事業所内の研修を充実させ、個々のレベルを上げていく。  
外部の機関と連携し、研修する機会を増やしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

新人職員が入職した際には技術研修を必ず実施し、仕事に対する不安を取り除くような活動をする事が出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	4	7	3	1	15
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加していますか	1	5	5	4	15
③ 地域連絡会に参加していますか			1	14	15
④ リスクマネジメントに取組んでいますか	1	7	5	2	15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

職場内の研修には参加している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

自分のスキルアップの為に研修に参加していない。自分が面倒だから。地域連絡会があるからどうか知らない。職場全体のスキルアップの事を考えられない。積極性が足りない。地域連絡会がわからない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

職場内研修は充実しているものの、外部での研修には参加できていない現状がある為、今後は積極的に参加を促し個々のレベルアップを図る。リスクマネジメントに関しては、担当職員を配置し徹底して取り組み、事故を未然に防ぐ。

実施日 平成 29 年 2 月 17 日 (18:00 ~ 20:00)

XYM-



◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
	6人	8人	1人	1人	
① 前回の課題について取り組みましたか？					

前回の改善計画

利用者の個人情報徹底して管理し、利用者間でも情報が流れないように注意する。

前回の改善計画に対する取組み結果

利用者の個人情報については、漏洩しないよう細心の注意を払っている。  
身体拘束についても、「絶対しない」「事を念頭に従業員一丸となって取り組んでいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
	9	4	2	2	
① 身体拘束をしていない					
② 虐待は行われていない					
③ フライバシーが守られている					
④ 必要な方に成年後見制度を活用している					
⑤ 適正な個人情報の管理ができている					

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

身体拘束・言葉による暴力・虐待はしていません！  
利用者の意見を尊重し相手が不快にならないような言動に心掛けている。  
個人情報漏洩しないよう注意している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

成年後見制度を理解していない。「待つ」などの言葉で拘束してしまう事がある。利用者の立場に立って行動が出来ない。気持ちに余裕がない。  
利用者からの不満や苦情があり虐待に繋がる可能性がある。利用者との信頼関係を築けていない職員がいる。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

身体拘束・虐待については引き続き注意を払い、言葉のかけ方等にも誤解を招くような発言はしない。  
個人情報の漏洩にも細心の注意を払い取り扱いは十分注意する。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	日成工業株式会社	代表者	池田 郁乃	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理師免許保持者、又は料理が得意な職員による利用者様への料理提供。</li> <li>・重度の方でも対応可能なスロープ浴槽での入浴の提供。</li> <li>・介護職員による、利用者様・家族様に対する丁寧な対応。</li> <li>・独自の社内研修を実施し、職員の資質向上を図る取り組みをしている。</li> </ul>
事業所名	小規模多機能つどいの郷 八重桜	管理者	野呂 亨久		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	3人	4人	人	人	15人	人	24人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	引き続き全職員で真摯に取り組む。	前年度同様、対象職員は真剣に取り組む評価することが出来ている。	今後も引き続き取り組みでほしい。	職員の意見の中には、意識の低さから出ている結果もあるので、それらの意見を少しでも改善するようにしていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	利用者家族のみならず、地域住民や地域の小学生が気軽に来やすい環境を整備する。	地域の特製なのか、なかなか事業者側が思うような環境整備ができないうい。気軽に来れるような環境下にはなっていない。	地域の小学校や幼稚園等と交流を深めていけば、もっと気軽に来れる環境になるのではないだろうか。	事業所のイベントを開催するにあたり、地域の方達にも来ていただけたらう宣伝をし、今後気軽に来ていただけるような環境を整備する。
C. 事業所と地域のかかわり	地域住民にとって、頼りがいのあたる施設を目指すとともに、施設内にある「介護カフェ」の利用を積極的に行う。	介護カフェの存在自体が知られていないとは考えにくい。地域にとつて、その必要性が感じられない。	せっかく介護カフェがあるのだから、どんどん活用してほしい。飲食料金が発生しても良い。	八重桜独自の「介護カフェ」の認知度を拡大させていく。地域住民にとって相談の窓口になれるよう活動していく。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取り組み	該当利用者様を中心とした地域ケア会議を開催し、今後のケアについて議論できる環境を整備する。	特定の利用者様については、住み慣れた地域でのケア会議を開催することは出来ており、町内会全体で支えていただいている。	今現在必要ではないものの、今後は必要になる可能性もあるだろう。その時には活用したい。	引き続き該当利用者については、地域ケア会議を開催し、町内会と一体になったケアを実現していく。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議での意見を積極的に取り入れ、地域での認知度を上げていく。また、町内会との連携を密にし、町内会側や地域住民からの要望を聞き入れ、運営に活かしていく環境を整備する。	定期的に運営推進会議を開催しているものの、町内会からの要望がそれほど無い。地域の中では認知されているが、連携を密にするほどの協力体制が整っていない。	町内会の人たちがもっと気軽に来れるようなイベントをしたらどうか。結果、認知度が上がっているのではないかと。	運営推進会議を定期的に開催し、町内会の要望も積極的に取り入れられ事業所運営していく。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>定期的な（年2回）の防災・防火 訓練を確実に実施し、町内会で開 催する際にも積極的に参加して いく。事業所防災・防火マニユア ルの遵守。</p>	<p>新たに防災マニユアル・非常時災害マ ニユアルを作成し、更なる安全に対す る意識の改革をしている。また、事業所 内での訓練も定期的の実施している が、町内会での訓練は実施されていな い。</p>	<p>年2回だけでなく、回数を増や し様々な状況に対応できるよう して欲しいし、家族も協力する。</p>	<p>年2回の防災訓練だけでなく、 独自の訓練も実施。それに加えて 救命講習も実施し、緊急時の対応 に役立てるようにする。</p>
----------------------------	---	---	--	---